

市内には、みどりを守り、育てるために活動している方々がいます。森の中で自然と触れ合ったり、市街地のみどりを増やしたりと、活動の内容はさまざまです。

みどりを増やす活動がまちじゅうで行われています

1

みどりに触れる楽しさを たくさんの人に体感してほしい

[NPO法人 ^{もり}森林遊びサポートセンター]

植樹や育樹体験をはじめ、自然観察会や山歩きなど、森林に関わる行事を年間90回以上行っています。南区の藤の沢小学校と駒岡小学校では、授業の一環として子どもたちと一緒に山に入り、樹木や動物について勉強。自然と触れ合うことの大切さや尊さを伝えています。

森づくりというと、まず植樹を思い浮かべる方が多いですが、下草刈りなど、植えた後の手入れも大切。何年もの時間をかけて育てた木々を見上げたときには、涙が出るほどうれしい気持ちになります。子どもたちや若い方に、森づくりの行事に参加していただき、そうした感動を味わってほしいですね。

森林遊びサポートセンター
こぼやしふみお
小林 文男さん



団体
データ

設立年 平成3年 会員数 約100人
(会員以外の方も行事に参加できます)
問い合わせ ☎592-1030

2

厚別区をもっと花で いっぱい

[ボランティア団体 まちづくり サルビア会]



地域の環境や子どもの健康に配慮し、化学肥料を含まない土で植物を育てている。

厚別を訪れる方を温かい気持ちで迎えたい、という思いから、国道12号の歩道や、青少年科学館前の広場で花壇の手入れをしています。この他、地域のイベント「あつべつ花フェスタ」の中で行う、種や苗の交換会の企画にも参加。花を通して地域を盛り上げています。

団体
データ

設立年 平成20年 活動頻度 月2回
会員数 21人 問い合わせ ☎893-2414

3

市民と企業、行政が 力を合わせてみどりをつくる

[ボランティア団体 グリーンエプロンズなど7団体]



昨年のグリーンエプロンズの花壇。落ち着いた雰囲気の花を中心に植えた。

来庁する方へのおもてなしの気持ちを込め、毎年、市役所前のコンテナに花壇をつくっています。今年は、雪印メグミルク(株)から市に提供された苗を、ボランティア団体などがデザインし植栽・管理。5月下旬から個性豊かな花壇が並び、訪れる人々の目を楽しませます。

団体
データ

[グリーンエプロンズ]
設立年 平成20年 活動頻度 月2回～3回
会員数 15人 問い合わせ ☎0126-37-2185

紹介した団体は、活動する仲間を随時募集しています。また、ここで紹介した以外にもたくさんの団体があります。詳しくはみどりの推進課 ☎211-2522にお問い合わせください。